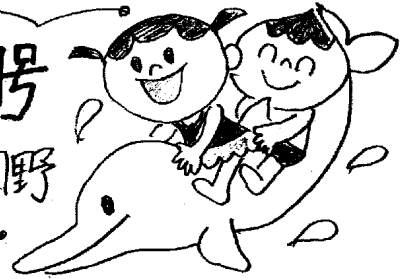


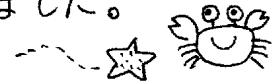


ちゅうりっぷ組だより 8月号

平成30年8月20日 ことり保育園 担当 団野



酷暑が続いていますが、多目的保育室の下は、
風も通り、心地良い空間となっています。さらにそこには、ツバメが巣を
作り、育っていくヒナを見るのも楽しみのひとつになりました。



水遊びでは、不安そうだった子も、足元に水を掛けることから始めて、
今では、自分から手を伸ばし、冷たい感触を楽しんでいます。
タライの水を叩いて、「バシャ」と顔に掛かるときは、一瞬驚き、すぐに
笑顔。「あ、あ」と嬉しそうに繰り返します。また、ちょうと子どもの
手の平サイズの水鉄砲で、「はらぺこあおむし」の形をした物がありますが、
それを握り締めたかと思うと、口にくわえて離さない子がいます。その
握り具合とくわえたときの感触が、よほど心地良かったのかもしれない。
どの子からも、「ずっと遊んでいたい」という気持ちが伝わって来ます。

さて、最近特に、目に映る物すべてに興味津々で、指差しも盛んです。
「あれは何?」「扇風機回ってるね。」「これは誰?」「〇〇ちゃんだよ」外を
指差すときは、「外に出たいよ」「おやつを
食べたら出ようね」などと、気持ちを汲み
取って、「ことば」を掛けています。

これからも、日々の生活の中で、知りたい
気持ちをやってみたい意欲を大切に
関わっていきます。

